

製品名: SET7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86923**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:41 kDa; Observed MW:41 kDa

抗原情報

遺伝子名	SET7
別名	KMT7; SET7; SET9; SET7/9
遺伝子 ID	80854
SwissProt ID	Q8WTS6
免疫原	ヒト SET7 の合成ペプチド

背景

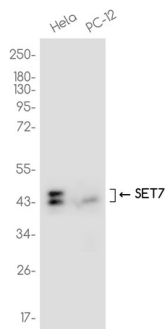
ヒストン H3 の Lys-4 を特異的にモノメチル化するヒストンメチルトランスフェラーゼ。H3 の Lys-4 メチル化は、エピジェネティッ

クな転写活性化のための特異的タグとして機能し、コラーゲナーゼやインスリンなどの遺伝子の転写活性化において中心的な役割を果たす。IPF1/PDX-1によってインスリンプロモーターにリクルートされ、転写を活性化する。また、基質タンパク質中の [KR]-[STA]-K を認識して結合することにより、p53/TP53、TAF10、そしておそらく TAF7 などの非ヒストンタンパク質に対するメチルトランスフェラーゼ活性も有する。TAF10 の Lys-189 をモノメチル化し、RNA ポリメラーゼ II に対する TAF10 の親和性を高める。p53/TP53 の Lys-372 をモノメチル化し、p53/TP53 を安定化させ、p53/TP53 を介した転写活性化を増加させる。

研究分野

-

画像データ



SET7 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、PC-12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。